

JGOG1072S-A2 試験：「子宮頸癌術後中リスク患者における術後療法に関する治療効果の検討」に関するご案内

1. 研究の対象

2004年から2008年の間に、東京大学医学部附属病院で子宮頸癌の診断のもと広汎子宮全摘出術を受けられた患者さんが対象となります（JGOG1072Sの対象となる患者さん）。その中で小細胞癌と未分化癌の患者さんと、術後再発リスクが明らかに高い患者さんは除きます。

2. 研究目的・方法

診療録をもとに、手術に関する情報、進行期などの病気に関する情報、手術前の患者さんの状態に関する情報、治療開始日、術後療法の種類、治療効果や経過に関する情報を収集し、系統的に統計解析を行うことにより、子宮頸癌患者さんの中で、術後療法を行うことの治療的な意義を検討するとともに、術後療法により良好な治療効果を得ることが期待できる患者さんの特徴を検討することを目的として行います。
研究期間は、倫理審査承認後～2022年12月です。

3. 研究に用いる情報の種類

手術に関する情報、進行期などの病気に関する情報、手術前の患者さんの状態に関する情報、治療開始日、術後療法の種類、治療効果や経過

4. 外部への情報の提供

当院での対象患者さんの情報に加えて、登録された施設から提供された情報を使用します（JGOG1072S研究で収集された情報）。今回、新たな情報収集は行いません。
また、提供された情報には、患者氏名、住所、参加各施設の固有の番号(患者ID番号など)などの個人を特定しうる情報は含まれていません。
データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。提供されたデータは、研究責任者が保管・管理します。提供されたデータを利用するのは、各施設の研究協力者になります。

5. 研究組織

婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）子宮頸癌委員会

委員長：武隈 宗孝

研究代表者：東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 田口 歩

6. お問い合わせ先

患者さんが特定できる情報については匿名化されておりますが、あなたの情報を提供することを希望されないときや、本研究に関するご質問等がありましたら 2021年9月30日までに下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 田口歩

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

TEL：03-3815-5411 FAX：03-3816-2017